

2014.2.27発行

No.32

こむらの保育



発行者／愛媛県保育協議会
会長／伊東 道子
編集責任者／大野 京子

発行所／愛媛県保育協議会
松山市持田町三丁目8番15号
愛媛県社会福祉協議会内



「ぼくのが一番大きいよ。」
喜多保育所（大洲市）



「ぼくがしてあげる。」
ミドリ保育園（新居浜市）



「こ～んなに力もちだよ。」
なかむら保育所（伊予市）

こどものつぶやき

つぶやき①

お部屋でごっこ遊びをしていた3歳児さん♪
こども「せんせい、おんぶはずしてください。」
保育士「どうして？」
こども「このこね～ごはんいっぱいたべて、おおきく
なっておむいの♡」と一言!!
とっても小さな可愛いお母さん達です。

つぶやき②

たこ揚げをしていたとき、たこが風にあおられている
様子を見て。「せんせい、たこがもうがまんできん!! っ
ていよる!!」と、こどもが一言。
今にも、手から離れていってしまいそうなたこの勢い
を感じた言葉です。

つぶやき③

5歳児クラス
お遊戯会が終わった後も、劇ごっこ、ダンスは、まだま
だ続いています。挿入歌もばっちり覚えて口歌です。
職員が行った寸劇の内容もしっかり覚えているこどもたち。
S子「じゃあ、○○ちゃん、園長先生役よ。『最近、こ
どもたちが外で遊ばないなあ～』って言うんよ。」と、
職員一人ひとりのセリフ、動きをしっかり覚えている
年長児さんです。

平成二十四年八月に成立した「子ども子育て支援法」に伴い、
 地方版「子ども・子育て会議」が、愛媛県及び県内市町で開催
 されています。実施主体になる市町では、ニーズ調査をもとに、
 子育て支援計画の策定に向けて動き出しています。

保育園からの発信

愛媛県保育協議会会長 伊東 道子

子ども・子育て会議の中で発信していくこと

私は愛媛県子ども・子育て会議に参加させていただいています。限られた会議時間の中で、次の二点をしっかり伝え、見守っていきたくと思っています。

●全ての子どもに最善の利益が実施されることを目的に、保育の質と量を支えるためには、保育士の処遇改善が必要です。実質十一時間の保育時間相当分が運営費に充当されるべきです。

●子育て支援の実施主体は市町になります。地域性や園の特色を生かしたユニーク（独創的）な子育て支援は応援し、反対に子どもの利益につながらない内容には徹底的に反論する姿勢を持ち続けたいと思います。

社会や保護者に向けて発信していくこと

保育園の教育とはどういうものでしょう。例えば、ミルクを飲ませる大人と赤ちゃんの間には、「微笑み、語りかけ、共感しあう」心地よさの中で、愛着関係が生まれます。また、子ども集団の中で「助け合ったり、ライバルとして切磋琢磨したり」、異年齢の中で「いたわり、憧れ」保育士との間で「愛され、認められ」素晴らしい体験ができます。そして、色々な人間関係の中で生じる「怒り、敗北感、疎外感、焦燥感、悔しさ」などの一見マイナスに見える体験も人生にとっては必要です。共感される体験をたっぷり味わい愛着関係の育っている子なら、自分の感情を「コントロールする力が身につくからです。以上のことを子どもたちが体験する保育園の教育は、将来の人格形成において非常に重要な意味を持っていることを発信していきます。

西条市の保育事情

西条市わかば保育園 青野 松一

西条市は、他市町と同じく平成二十七年年度に始まる子ども・子育て支援新制度に向けて「西条市子ども・子育て会議」を設置し、子育てに関するニーズ調査を行っています。二十六年度中に計画、実施の予定になっていますが、子どもにとって最善の利益が実施されることが望まれます。我々保育所にかかわる者にとって変化のある一年になると思いますが、今やるべきことをやることが必要だと思っています。

西条市の人口は、この二十年間二七％減少しています。〇歳から五歳の就学前人口は、二十五％減少となっていますが、保育所の入所希望児数は増えており、地域によってはばらつきはありますが、定員を大幅に超えており、市全体で定員を増やしたにもかかわらず入所しにくい状況が続いています。

今、保育所は開園時間の長時間化、要支援児の増加、低年齢化などにより保育士の増員に迫られています。諸々あり、保育士の有資格者が保育の現場に就業しない例が多く見られ、現場の保育士さんの負担がますます大きくなります。これでは、過去の先輩たちが望んでいた保育の質の向上は期待できません。

保育士の質・量を確保するには、他業種に負けない就業環境の向上が必要だと思えます。子ども・子育て支援新制度でも制度の改革は必要ですが、現場の保育士さんの負担増になることは避けていただきたいと思います。





愛媛県保育士関係者交流セミナー

愛媛県内の保育所職員、保育士養成施設の学生及び保育士資格を取得していないながら保育に従事していない者（潜在保育士）等を対象に、資質の向上、人材の確保という観点を目的として、愛媛県からの委託を受けて平成二十五年度に新しく事業を行いました。内容としては、

- 手遊びや歌の実技
- ・参加者みんなで手遊びやうたを歌い、自然と笑顔になりとても楽しいひと時でした。
- シンポジウム
- ・保護者代表、地域の代表者、保育士代表、学生代表の四名が、保育所の重要性や保育士としてのやりがいなどをそれぞれの立場で発表されました。
- 講演
- ・東京都市大学人間科学部児童学科教授の小川清美先生のお話を聴きました。保育士に今求められているのは「保育の高い質を実践できる保育士」と「子育て支援ができる保育士」です。

会場から「やめたくなくなる保育士が多い原因は？」という質問に、いい保育をしている保育所は厳しくもある。その厳しさが何に繋がっているかわかればやりがいになる。自分のしていることを認めてくれることで頑張ることができる。学生が就職の際第一にチェックするのは賃金ですとも話されました。

○情報提供のブース開設

・二十三ブースが並び、求人情報や各園の紹介などがありました。また、会場内にはドリンクコーナーや保育につながるビデオ上映のコーナーもあり、他の研修とは違った交流の場になる工夫もされていました。

※二十六年度は六月開催に向けて企画中です。より多くの就職情報を得られるように皆様からの情報提供をお願いします。また具体的な企画案がありましたら、各支部の理事さんにご提案下さい。

「保育士不足解消」に向けて、愛媛県の保育園が一つになってセミナーを成功させましょう。各支部の皆さんには、ブースをご利用いただき積極的なご参加をお願いします。



シンポジウム シンポジスト



シンポジウム コーディネーター 野本ひさ氏



手遊びや歌の実技



情報提供のブース



小川講師に対する質問



講演 講師 小川清美氏

私たちの 取り組み

保育士研修会

実技「子どもたちと一緒に感動するものづくり」

ものづくり

今治市立富田小学校教頭 村上圭司氏

○心のこもった教材準備をいただき、参加者も子どもの気持ちになって「ものづくり」の楽しさを体験できました。

講義Ⅰ「保育のための「コミュニケーショントレーニング」

財団法人児童健全育成推進財団事務局長 依田秀任氏

○保育は幅広い対人関係とそれに対応する力が必要です。子どもには遊びの中で「コミュニケーションの力をつける必要があります。ワークショップを交え「コミュニケーションのスキルを高める方法を体験できました。

パネル討議「新たな時代の保育実践」

講義Ⅱ「新たな時代の保育実践」～すべての子どもに向けて～

神戸松蔭女子学院大学教授 奥美佐子氏

○課題を抱えている子どもが多くなっている現在、保育園が地域の基点としての役割を果たすことが求められています。新制度に向けて幼稚園の実態を知ることが大切です。

○子どもたちに育てたい二つの力（今を生きる力と未来を切り拓く力）保育の質を高めるための具体的な事例を通して伝えていただきました。

【参加者からのアンケート】

- ・パネル討議のグループ協議は課題を提示していただき話しやすかった。グループは地域をバラバラにしてもう少し時間もあればもっと充実したと思う。

- ・今回は、実技もあり作ることで話しながら楽しく研修を受けることができた。実技をできれば午後からにしてもうえれば良いと思う。

- ・準備等本当にありがたうございました。身になり楽しめる研修を考えてくださったことを感じた。



実技講師 村上圭司氏

主任保育士研修会

講義Ⅰ「日本のスイッチを入れる」

龍馬プロジェクト全国会長 神谷宗幣氏

○日本の若者の意識が低下しており、その意識を上げるためには、まず自分身のスイッチを入れることが大切です。園児のスイッチを入れるには保護者のスイッチを入れる必要があります。その方法を考えることが保育者のスイッチになるのではと、アクションを起こす必要を話されました。

パネル討議「保育所の使命と地域社会での役割」

松山東雲女子大学教授 高杉 展氏

○保育内容の充実、保育の質の向上は、保護者や地域を巻き込んでより良いものにつなげていくためにも必要なことです。

講義Ⅱ「多様な保育ニーズに対応していくための社会資源の活用について」

松山東雲短期大学 友川 礼氏

講義Ⅲ「子ども・子育て支援新制度について」

社会福祉法人あすなる保育園園長 三木 一平氏

○今後の動向を見据えて対応していかねばなりません。また、子ども子育て会議のアンケート調査についてもしっかりと把握するなど自分たちのこととしてとらえることが大切です。

【参加者からのアンケート】

- ・班別に分かれての話し合いは、他の地域との交流になり大変よかった。ワークショップ形式は色々な意見を聞くことができてよかった。

- ・名札があることで、グループ討議等で役に立った。
- ・色々な講師のお話を聞くことができたが、前向きな話を聞きたい。少し不安になった。

- ・実技の講義もあればよかったのではないか。



パネル討議 パネラー

平成26年度研修等予定

No.	研修等名	場所	期日
1	愛媛県初級保育士研修会	ひめぎんホール	6/12(木)～6/13(金)
2	愛媛県保育士関係者交流セミナー	ひめぎんホール	6/20(金)
3	愛媛県子育て支援専門研修会	県総合社会福祉会館	7/7(月)～7/8(火)
4	愛媛県保育士研修会	県総合社会福祉会館	7/24(木)～7/25(金)
5	愛媛県保育事業研修大会	ひめぎんホール	8/24(日)
6	愛媛県0・1歳児保育研修会	ひめぎんホール	9/25(木)～9/26(金)
7	愛媛県障がい児保育研修会	県総合社会福祉会館	10/30(木)～10/31(金)
8	愛媛県主任保育士研修会	県総合社会福祉会館	11/6(木)～11/7(金)
9	愛媛県保育所給食担当者研修会	県総合社会福祉会館	11/26(水)
10	愛媛県保育所長研修会	県総合社会福祉会館	1/23(金)



平成25年度全国保育協議会会長表彰

保育事業に多大な貢献をされた方に贈られる標記表彰の被表彰者は次の通りです。ご報告いたします。

No.	支部・保育所名	氏名
1	伊予市 なかむら保育所	大野京子
2	宇和島市 石丸保育園	鹿島孝代
3	東温市 南吉井保育所	玉乃井京子
4	南宇和郡 はまゆう乳幼児保育所	尾崎弥生



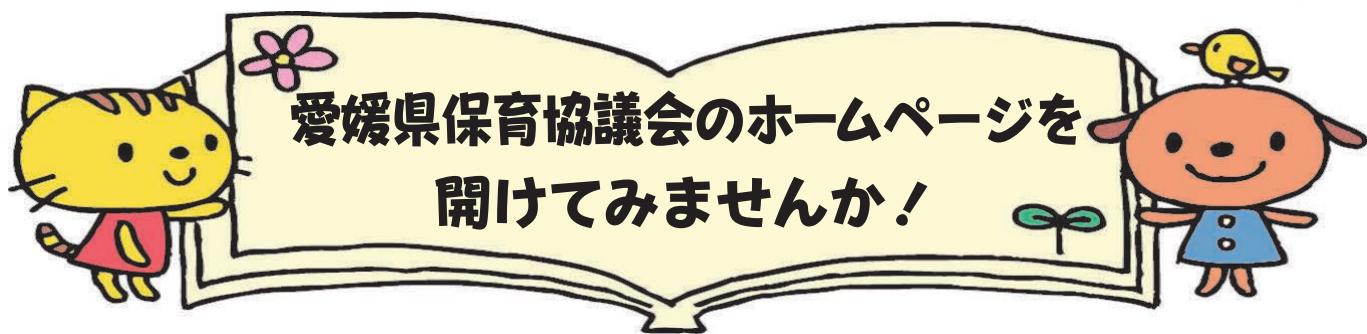
保育所問題対応協力金

合計 945,090円

ありがとうございました



昨年末ご協力いただきました「保育所問題対応協力金」は皆様のご協力により、今年度も目標額を達成することができました。この協力金は全国保育協議会が保育制度の充実強化を目指すために活用させていただきます。



http://ehime-hoiku.jp/

ホームページ上では、広報「えひめの保育」や各種研修会等の開催案内・報告を掲載しています。また、地域の方や学生さんが各保育所の情報を得るために、県内保育所の情報提供も行っています。

平成26年度からは各支部の保育活動についての報告も掲載することとなりました。ぜひ各支部の仲間がどんな活動をしているのかご覧ください。初回は、中予地区・伊予市支部の取り組みを紹介しています。

皆様方からの「保育所でのできごと・こどものつづやき」も募集しています。どしどしご参加ください。



五城保育園(喜多郡)

「こわいよ〜。たすけて〜。」

・編集後記・

年が改まり午年になりました。今年も、新制度の具体的な姿が明らかになります。この激動期、干支の馬のように勢いよく乗り越えていきましょう。

時代が変わろうとも、保育の基本は「子ども」です。これだけ変えたくないものです。

昨年平成二十五年度の漢字は、「輪」でした。私たち保育の仲間も力を合わせて、手を取り合い大きな「輪」になることを願っています。

総務広報部員一同